

I 今回の改訂のポイント

- 幼稚園教育において育みたい資質・能力を明確化（「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力の基礎」「学びに向かう力、人間性等」）
- 5歳児修了時までには育てほしい具体的な姿を「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」として明確化するとともに、小学校と共有することにより幼小接続を推進
- 幼児一人一人のよさや可能性を把握するなど幼児理解に基づいた評価を実施
- 障害のある幼児や海外から帰国した幼児等の幼稚園生活への適応など特別な配慮を必要とする幼児への指導の充実

II 教育内容の改善・充実と生きる力の基礎

i 教育内容・ねらいの改善・充実〈領域〉

- 1 「健康」：健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
- 2 「人間関係」：他の人々親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。（道徳性・基本意識の芽生え等）
- 3 「環境」：周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。（季節による自然・人間生活の変化、我が国や地域社会の様々な文化等）
- 4 「言葉」：経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。
- 5 「表現」：感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

何を学ぶのか

ii 生きる力の基礎

- 教師は、幼児との信頼関係を十分に築き、幼児が身近な環境に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気づき、これらを取り込もうとして、試行錯誤したり、考えたりするようになる幼児期の教育における見方・考え方を生かし、幼児と共によりよい環境を創造するように努めるものとする。
 - 1 豊かな体験を通じて、感じたり・気付いたり・分かったり・できるようになったりする 〈知識及び技能の基礎〉
 - 2 気付いたことやできるようになったことを使い、考えたり・試したり・工夫したり・表現したりする 〈思考力・判断力・表現力等の基礎〉
 - 3 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする 〈学びに向かう力、人間性等〉

III 幼児期の終わりまでに育てほしい姿

何ができるようになるか

1 健康な心と体 幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かった心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。	2 自立心 身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならぬことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。	3 協同性 友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。	4 道徳性・規範意識の芽生え 友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながらきまりをつくり、守ったりするようになる。	5 社会生活との関わり 家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き〈略〉地域に親しみをもつようになる。〈略〉公共の施設を大切に利用するなどして社会とのつながりを意識するようになる。	6 思考力の芽生え 身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。〈略〉自ら判断したり考え直したり〈略〉自分の考えをよりよいものにするようになる。	7 自然との関わり・生命尊重 自然に触れて感動する体験を通して、〈略〉好奇心や探究心をもって考え〈略〉自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。〈略〉身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり〈略〉関わるようになる。	8 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし〈略〉興味や関心、感覚をもつようになる。	9 言葉による伝え合い 先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語に親しみながら豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。	10 豊かな感性と表現 心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で〈略〉気づき、感じたことや考えたことを〈略〉表現したり、〈略〉過程を楽しんだり〈略〉表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。
---	---	---	---	---	--	---	--	--	--

IV 幼稚園教育と小学校教育の接続

⇒幼児の自発的な活動としての遊びを通して育てていく！

◇ 幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、『幼児期の終わりまでに育てほしい姿』を共有するなど連携を図り、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

V 体験と主体的・対話的で深い学び

◇ 幼児が様々な人やものとのかかわりを通して、多様な体験をし、心身の調和のとれた発達を促すようにしていくこと。その際、幼児の発達に即して主体的・対話的で深い学びが実現するようにするとともに、心を動かされる体験が次の活動を生み出すことを考慮し、一つ一つの体験が相互に結び付き、幼稚園生活が充実するようにすること。

どのよう学ぶのか

VI カリキュラム・マネジメント

- 1 「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」を踏まえ、教育課程を編成すること
- 2 教育課程の実施状況を評価して改善を図っていくこと
- 3 教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

組織的かつ計画的な教育課程のPDCAサイクル化により、幼稚園の教育活動の質的向上を図る！